

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	すくすくジャンプ		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 15日		～ 2025年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所だからできる活動やイベントができること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントは数カ月前から企画・運営を行い、準備をして取り組んでいる。また1人1人の職員が楽しんで取り組んでいる。</li> <li>・参加する児童だけでなく、ご両親やご兄弟も楽しめるような内容も取り入れて、イベントは企画している。</li> <li>・チーム内でミーティングを行い、色々なアイデアを組み合わせ活動を考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年行っているイベントに関しては、ブラッシュアップをしてより良いものを提供できるようにしていきたい。</li> <li>・毎年どこか遠足などのお出かけができるようにしていきたい。</li> </ul>
2	個人の特性を生かした支援を行っていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイッチや視線入力装置など、本人が意思を表出できる物を意識的に取り入れて、コミュニケーションや活動を行っている</li> <li>・休憩時などは積極的にマッサージやストレッチを実施して、身体をリラックスする時間を作っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の頻度よりもミーティングや意見交換の場を設けて、職員同士の共通理解を深めていき、より子どもたちに合ったものを提供したり、本人の意思を汲み取れるように、スイッチなどのデバイスを充実させていく。</li> <li>・PTが他のスタッフにも丁寧に教えて、安全に行えるようにしています。今後も続けていきたいです。</li> </ul>
3	広くきれいな事業所や設備環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋を広く活用した活動などを、行っている。</li> <li>・大人数で行う活動に関しては、広い部屋を活用するようにしている。</li> <li>・日々整理整頓をすることを心がけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内の整備や、整理整頓は意識的に取り組んでいる。</li> <li>・子どもが大きくなるにつれて、職員の身体的負担が大きくなっているため、リフトを導入するなどの対策を検討していきたい。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方や子供たちと触れ合う機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が終わってからの時間だと、外部の人たちと関わる機会を設けることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機会の頻度を増やすことが現実的に難しい。目の前にある公園へ遊びに来てくれるお友達と一緒に遊んだり、近所へお出かけした時などは、積極的に周囲の人と関わっていききたい。</li> <li>また、春祭りや秋祭りなども、子どもたちと地域の人が一緒になって楽しめることを企画して、慣れ親しんでもらえるような内容を創り上げていきたい。</li> </ul>
2	ご家族の方に対する支援が不十分であったり情報提供する場が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族の方からのご相談や悩みを聞く機会があまりない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎の時や、モニタリングなどの面と向かってお話をできる時に、日頃の様子や、最近の困りごとなどを吸い上げられるような、コミュニケーションをとっていきたい。</li> </ul>
3	日々の活動の様子を、保護者の方に伝えきれていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSを活用して、保護者の方に活動の様子を伝えるようにしているが、支援に追われてしまい写真や動画を撮る余裕がないことが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務職が手際の際に、撮影を依頼できるようにしていく。</li> <li>・スイッチなどを活用して、児童が撮影係なども行えるようにしていく。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 すくすくジャンプ

公表日 2026年2月1日

利用児童数 15名

回収数 8名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	1			外のインクルーシブ遊具なども広いし十分にあると思います。	気候が良い時期は外の遊具を使って活動を楽しんでいます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6			2	転職される方など入れ替わりもありますが、今のような適切な数を保ってほしいなとねがっています。	入れ替わり等がある場合は、児童が安全に楽しく過ごしていけるよう、しっかりと引継ぎを行わせていただいております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8				子どもの気持ちを折に触れて汲み取ってもらえてると感じています。	職員間で仕草や表情などを共有して、気持ちが汲み取れるよう考えさせていただいております。保護者様ともお話しさせていただき、いつもアドバイス等いただきありがとうございます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8				毎週充実した活動をしていただき感謝しています。	季節に応じたイベントなど取り入れさせていただいております。「こんな活動もやって欲しい！」などございましたら、お気軽にご要望ください。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1		2		平日の時間で関わるのが中々難しいので、春祭りや秋祭りのイベントなどで、交流する機会を設けさせていただいております。
保護者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1		1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8				子どもについてスタッフさんからアドバイスや提案をいただけています。	日々気になることなどを共有させていただきありがとうございます。引き続きよろしくお願いたします。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1	1	家族の事も気にかけてくださってありがたいです。 我が家はなかなか参加できなくているのですが、秋夏祭り等コンサートなど色々なイベントのお知らせをもらうので交流の機会があつていいと思います。	すすすくで実施している夏祭りや、クリスマス会などのイベントは、ご兄弟の方も一緒に楽しめる内容もありますので、是非お越しください。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7		1	相談に乗って頂いたり柔軟に対応していただいたりとても助かっています。	ご相談いただきありがとうございます。多くの専門職がおりますので、様々な角度からのアドバイスもさせていただきます。いつでもお気軽にご相談ください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1			子どもとの意志の疎通に関しては、スイッチや視線入力などのICT機器も導入したり、色々な方法でコミュニケーションの手がかりを探しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7		1		事業所内での事故(ケガ等)や、送迎中の事故などが発生した場合は、すぐに保護者様へ連絡し、状況等を報告し謝罪させていただきます。事故等が起きないように、日々のヒヤリハットは毎日の朝礼と終礼、職員会議にて共有しております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8			とても楽しみにしています。 子どもが楽しみにしている様子なので安心して通わせてられています。	今後も色々な活動を子どもと一緒に楽しんでいきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8			引き続きよろしく願いいたします。	今後も日々の活動はもちろん、色々なことにチャレンジしていきたいです。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	すくすくジャンプ				公表日	2026年 2月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2	バギーは廊下に出すなどしてスペースの確保をしている	身体が大きいこともあり、人数とスペースが狭く感じることがある 日によっては窮屈や、危険を感じる
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		定期的に整理整頓をしている。 無駄なものがおかれておらず、安全で清潔な空間となっている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	適宜チームの時間を取り、必要な会議やミーティングが行われている	長期休みなど、平常時より忙しい時期の時間確保が課題。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		普段関わる職員が必要に応じて話し合いが行われている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	児童の特性に合わせて、見える化したツールを職員間で共有して、共通認識できるようにしている	インフォーマルな部分は、職員と児童との関係性により変化するため、職員間の共有が難しい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	支援目標を共有し、内容が検討されている	利用頻度が少ない利用者様の変化を短い時間の中で捉えることが難しいため、1対1で関わる頻度を増やしていきたい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	基本は保育士が立案して、その他スタッフが意見を出している。また、日々の活動後に職員間で、振り返りなどを行っている	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2	児童の利用が多い日は、割り振りやどのように連携するか等を打ち合わせしている。また支援をしている中、で声を掛け合って連携して動けるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	共有すべき特記事項は、終礼にて共有するようにしています。	支援終了後は時間を取ることが難しいので、翌日などに振り返る時間を取れるよう検討していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1	特に印象に残った事象に関しては、PC内に記録として残すようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	1	リラックスできる時間を提供し、創作活動をしたり、地域の人と関わるイベントに参加したりしている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をす力を育てるための支援を行っているか。	4		家族や学校の先生などに意思決定や確認の方法を聞き、対応している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	基本は保育士が立案して、その他スタッフが意見を出している。また、日々の活動後に職員間で、振り返りなどを行っている	活動についてチームの中で、定期的に振り返る時間を確保していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	敷地内にある公園で、遊びに来ている小学生の子供たちと一緒にインクルーシブ遊具で遊ぶなど、積極的に触れ合うようにしている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	児発管は参加するようにしています	協議会に参加した内容をフィードバックする場を設けていく
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		市役所から案内された研修を、ご家族へ周知していただけるようにする	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4				

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		職員への周知が不十分なため、回覧方法を検討します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	1		契約時にアセスメントシートを記入いただき、一通りのことを把握しているが、共有できていないスタッフがいるので、伝達方法を検討する。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			